被災地に地域の居場所をつくる

陸前高田市立高田東中学校

岩手県陸前高田市

設計・監理／SALHAUS
施工／佐武・菱和経常建設共同企業体

地域開放を想定した大きなエントランスホール

復興を契機として、地域のための中学校をつくる

この建築は東日本大震災にて被災した3つの中学校を統合した、「陸前高田市立高田東中学校」の新校舎である。設計にあたり求められたのは、学校機能を充実させるだけでなく、被災した住民のための「地域の居場所」をつくることである。

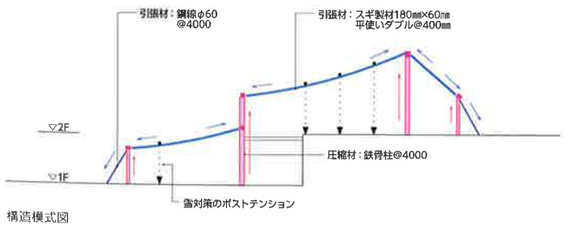
陸前高田市は中心市街地の被害が大きく、復興事業として大規模な嵩上げ工事を行っている影響により、被災地の中でも公共施設の復旧が遅れている地域である。そのため住民の不自由な日常生活が長らく続いており、この新校舎は新しい地域の居場所としての期待を背負った建築である。そこで設計プロセスにおいて、生徒や教員、地域住民と幾度ものワークショップを開催し、様々な地域からのアイデアを受け入れながら設計を進めていった。ワークショップを経ることで、地域利用がしやすいエントランスホールと一体になった図書室や、避難所としても使いやすい体育館などが生まれることとなった。

地域との対話において、2つのアイデアを設計の前提条件とした。1つは広田湾を望む眺めの良い敷地を生かし、どこからでも海が見える校舎にすること。もう1つは周囲の山並みの風景に寄り添うような、木の大屋根で包まれた空間にすること。ワークショップを経てプランニングは大きく変化していったが、この2つのアイデアは変わらずに実現している。シンプルなコンセプトから始めることによって、多様なアイデアを受け入れやすい状況をつくることができた。

またこの建築の特徴は、敷地の勾配を利用した断面計画である。道路からのアクセスがしやすい2階に地域開放・特別教室を設け、グラウンドに面した1階には、生徒が利用する普通教室を配置した。上下階は廊下の吹抜けを介して、互いに関係をもつことができる。

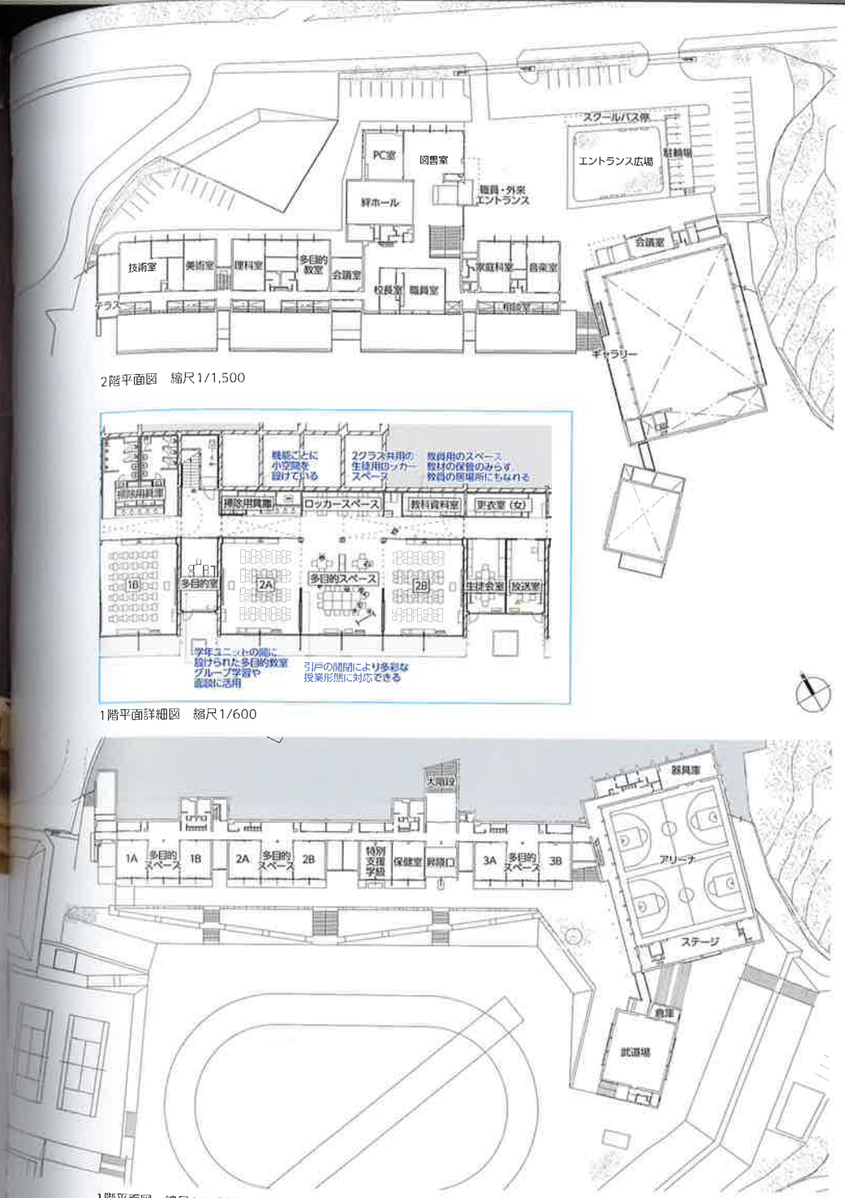
大屋根の構造は、地元材である「気仙杉」を用いている。張力を導入したカテナリー形状とすることで、ロングスパンを細い製材で掛け渡すことができる。このフレキシビリティの高い架構方法によって、設計プロセスでは様々な意見を受け入れることが可能となり、将来の利用形態の変化にも対応しやすい建築となった。この印象的な木の大屋根が「復興のシンボル」として、長く住民に親しまれていくことを願っている。

(日野雅司／SALHAUS)



構造模式図

エントランス広場より校舎を望む



2階平面図　縮尺1/1,500

1階平面詳細図　縮尺1/600

1階平面図　縮尺1/1,500

広田湾を見下ろす校舎配置

図書室・絆ホールと一体のエントランス

教室に隣接した多目的スペース

避難所利用を想定した体育館

陸前高田市立高田東中学校　データ

所在地　岩手県陸前高田市米崎町字和方130-1
主要用途　中学校
事業主体等　陸前高田市

日野 雅司……ひの まさし(写真右)
1998年東京大学大学院修士課程修了、同年～2005年山本理顕設計工場。2008年～SALHAUS共同主宰、2017年～東京電機大学准教授

栃澤 麻利……とちざわ まり(写真中)
1999年東京理科大学大学院修士課程修了、同年～2006年山本理顕設計工場。2008年～SALHAUS共同主宰

安原 幹……やすはら もとき(写真左)
1998年東京大学大学院修士課程修了、同年～2007年山本理顕設計工場。2008年～SALHAUS共同主宰、2011年～東京理科大学准教授

設計　SALHAUS
担当／建築：日野雅司、栃澤麻利、安原 幹、北尾一顕、檜垣幸志（元所員）、田中邦幸、佐熊勇亮
構造　佐藤淳構造設計事務所
担当／佐藤 淳、荒木美香、古市渉平
設備　総合設備計画
担当／佐藤 勲、岡 正浩、佐々木唯(元所員)、桑嶋琢朗、三浦 学
外構　ランズ計画研究所　担当／北島佳浩、浅見友紀
積算　高輪建築コンサルタント　担当／横堀剛一
照明　シリウスライティングオフィス
担当／戸恒浩人、遠矢亜美、野澤潤一郎(元所員)
サイン　氏デザイン　担当／前田 豊、海澤 麗
家具　+i DESIGN　担当／泉井保盛
6D　担当／大坪輝史
学校計画アドバイザー　倉斗綾子
監理　SALHAUS
担当／日野雅司、栃澤麻利、安原 幹、北尾一顕、佐々木嶺
構造　佐藤淳構造設計事務所
担当／佐藤 淳、荒木美香、古市渉平
設備　総合設備計画
担当／佐藤 勲、岡 正浩、桑嶋琢朗、三浦 学
施工　佐武・菱和経常建設共同企業体
担当／京屋昌民、菊池義美、荒田真次、竹村彰布、伊藤永美、菅原龍介、佐々木俊

[建築概要]
敷地面積　34,693.51㎡
延床面積　7,172.31㎡
構造規模　RC造、S造、一部木造　地下1階、地上2階
設計期間　2012年12月～2014年3月
工事期間　2015年4月～2016年10月
撮影／吉田 誠

協力会社

機械設備工事	双葉設備アンドサービス
高・土工工事	渥美工務店
仮設足場・断熱工事	イワテック
鉄筋材料	東京鉄鋼
鉄筋工事	金澤鋼業
屋根工事	元旦ビューティ工業
スチール製建具工事	三和シヤッター工業
体育館鋼製床工事	染野製作所
耐火野地板	ニチハ